

総合教育会議を開催しました

～「教育日本一」に向けての取り組みについて協議～

6月10日（水）に、藤枝市役所で、本年度第1回目の「藤枝市総合教育会議」を開催し、テーマである学校図書館の更なる充実に向けて協議を行いました。

総合教育会議は、市長と教育委員会による「教育日本一」を目指す本市の教育行政に対する率直な思いを協議する場です。年間3回実施し、市長と教育委員会の連携をさらに強固にし、より一層市民の意見を反映した教育行政を進めていくことを目的としています。



▲出席者：市長、教育長、教育委員ほか

令和2年度のテーマは「学校図書館司書」。本市では、今年度より各学校の図書館に配置する司書の1校1人体制を進めています。

実際に勤務する司書からは、「2校兼務体制に比べ、時間に余裕ができ、子ども一人ひとりに寄り添った本の提案が可能になった」など業務改善がなされたとの声が上がっています。一方で、「授業への積極的な参加等もっと活動の幅を広げたいが勤務時間が足りていない」や「団体貸し出しや学校間貸し借りの際市立図書館や他校へ本を運ぶ手段がない」などといった課題がまだあることも現実です。

教育委員からは、「図書館司書1人だけでなく、学校全体で図書館活用の意識を高めるべき」「図書館の『情報センター』としての機能を高めることも重要」などの意見がありました。

また、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、臨時休校し、先月から再開した学校の状況を事務局から報告しました。北村市長は、会議を通して「読書は人の心を豊かにする。学校図書館司書は子どもの心の成長に大きな役割を果たす。大切なのは楽しく学校に行き、人の道を学ぶこと。教員は焦らずにのびのびした子どもたちを育ててほしい。」と述べました。

今後の総合教育会議でも、継続して施策の展開や課題解決に向け協議を進めていきます。



▲学校図書館司書による学校図書館充実の様子（葉梨中）